

各位
プレスリリース

2024年4月10日
大豊産業株式会社

水力発電所で自律飛行型巡視ソリューションを導入

ロボティクス技術で無人運用化や AI による設備の異常検知を実現

大豊産業株式会社（本社：香川県高松市、代表取締役社長 乾和行、以下「大豊産業」）は、株式会社センシンロボティクス（本社：東京都品川区、代表取締役社長 CEO：北村卓也、以下「センシンロボティクス」）共同のもと、四国電力株式会社（本社：香川県高松市、取締役社長 社長執行役員：長井啓介、以下「四国電力」）の水力発電所で AI を用いた設備の異常検知を目的に自律飛行型巡視ソリューションを 3 カ所に導入しましたことをお知らせします。

水力発電所の多くは山間部に位置しており、保守員は遠隔の事業所から赴いていますが、移動に時間を費やしているのが実状であり、デジタル技術の活用による保守業務のスマート化が求められていました。

この自律飛行型巡視ソリューションのシステムはセンシンロボティクスが提供するプラットフォーム『[SENSYN CORE](#)』の機能の一部である、AI 技術と画像などのデジタルコンテンツを一元的に管理が可能な『SENSYN CORE Datastore』を活用し、設備の異常の発見を可能としました。異常が検知された場合にはアラートを発報し、迅速な初動対応に貢献しています。また、Skydio 機専用のドローン基地『Skydio Dock』を活用することで、自動充電や設定経路に沿った飛行が可能であり、水車・発電機周辺の写真を自動で撮影後、『SENSYN CORE Datastore』へデータ保存し、遠隔の事業所から確認ができます。



水力発電所内ソリューション設置



遠隔からの自動巡視点検

今後も、ロボティクス技術や AI 解析の活用により、異常検知の対象範囲の拡大や精度向上を行い、更なる保守業務の効率化や高度化に貢献してまいりたいと考えております。

「大豊産業株式会社 概要」

設立	1949 年 10 月
代表者	代表取締役社長 乾和行
URL	http://www.taihos.co.jp/
所在地	香川県高松市寿町 1 丁目 1 番 12 号パシフィックシティ高松ビル 9 階
事業内容	昭和 24 年に高松市御坊町で電気機材卸売業として産声を上げ、四国電力グループを主要取引先として、インフラ整備の安定供給のための電機・通信・土木機材をサポートしてまいりました。一方、横河電機他、計測制御分析機器メーカーの販売代理店・サービス代理店として、四国内外に営業ネットワーク 13 拠点を配し、大手化学工場、石油精製工場、原子力発電所、製紙工場などの取引により、業容を拡げてまいりました。現在では、営業、システムエンジニア、サービスエンジニア、電気・土木施工管理技術者を有するトータル・エンジニアリング企業として幅広い分野・業界でご愛顧いただいております。また、近年では、ロボティクス・ドローン・モビリティといった新領域への取り組みや、タイでの事業展開等、新領域についても積極的に挑戦を進めております。これからも「省力化」「インフラ整備」「新エネルギー・IoT」に関わる「技術力と商品の総合提案力」で四国内での活躍はもちろんのこと、日本全国そして世界へと活躍の場を拡げてまいります。

本件に関するお問い合わせ

大豊産業株式会社 営業技術本部 企画部

TEL : 087-811-4567

Email : info@taihos.co.jp